



職員募集

ご応募お待ちしております！
お問合せは下記へお電話ください。

調理、売店、外販スタッフ（6時間パート）

【資格】経験不問、要普免、厨房等での調理経験者歓迎
【勤務】8:00～15:00(休憩1時間)、月～金、第2・4土曜日(週5日)
【勤務地】ワークハウスみやま(高崎市金古町)
高崎市中川長寿センター(高崎市井野町)
【時給】880円～(3カ月の試用期間中は850円)
【待遇】通勤手当あり、賞与あり、有給休暇あり、雇用保険各種あり

グループホーム世話人（パート）

【資格】経験不問、要普免
【勤務】朝7:00～10:00、夕15:00～19:00(勤務時間用相談)
ローテーションにより月15日程度、土日、祝日勤務有り
【勤務地】吉岡町5カ所、高崎市菅谷町1カ所
【時給】930円～(3カ月の試用期間中は880円)
【待遇】通勤手当あり、賞与あり、有給休暇あり、雇用保険各種あり

送迎ドライバー（パート）

【資格】大型自動車運転免許、マイクロ送迎の経験者歓迎
【勤務】朝7:00～9:00 昼12:00～14:00 夕16:00～18:00
月曜から日曜日 ローテーション勤務による
【勤務地】みやま工房(吉岡町南下)
【時給】880円～(3カ月の試用期間中は850円)
【待遇】通勤手当あり、賞与あり、有給休暇あり、雇用保険各種あり

レクリエーションのご案内

【絵画教室】

日時：2月11日(水)14:00～15:00
場所：みやま工房 事務棟 2階 会議室
参加費：200円 材料費等

法人からのご案内

新年度(令和2年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

発行 特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 繁男

住所：群馬県北群馬郡吉岡町大字南下983-2(みやま工房内)

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」
就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」
多機能型事業所(就労継続支援A型・B型)「キッチンハウスみやま」
多機能型事業所(生活訓練・就労移行支援)「ワークハウスみやま」
グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・4号・5号・6号
(文責：笹澤賢一)

NPO
法人

山脈ニュース

2020年
2月号

令和元年度 職務アンケートを実施しました！

特定非営利活動法人山脈では毎年11月に、職員全員を対象に職務アンケートを実施しています。今の仕事に対するやりがい・満足度、職場の雰囲気、仕事に対する評価などから異動の希望や、法人運営に対する意見などを忌憚なく書いてもらっています。また、理事長や理事との面談を希望する職員やアンケートの内容によって直接話を聞いた方がいいと思う職員とは、アンケート実施後に面談を行います。これらの結果も考慮し、次年度の人事の参考としています。

今回は、正職員、パート職員、アルバイト等、全職員72名に職務アンケートを実施し、結果を集計しましたので、その一部をご紹介します。

(質問1) 現在の仕事にやりがい・満足感を感じますか？

はい 68名(94.4%) いいえ 3名(4.2%) 未回答 1名(1.4%)

(質問2) 所属する職場の雰囲気は仕事をしやすい環境ですか？

はい 64名(88.9%) いいえ 6名(8.3%) 未回答 2名(2.8%)

(質問3) 自分の勤務状況は周囲から評価されていると思いますか？

3-1 上司から

はい 32名(44.4%) いいえ 20名(27.8%) 未回答 20名(27.8%)

3-2 同僚から

はい 36名(50.0%) いいえ 15名(20.8%) 未回答 21名(29.2%)

(質問4) 自分の業務内容に照らし合わせ、現在の処遇(給料)に満足していますか？

はい 43名(59.7%) いいえ 18名(25.0%) 未回答 11名(15.3%)

(質問5) 今よりもっと責任のある仕事をまかされたいですか？

はい 15名(20.8%) いいえ 52名(72.2%) 未回答 5名(6.9%)

今回の職務アンケートの結果から当法人の現状や課題が見えてきました。

設問(1)・(2)より、多くの職員が障害者を支えるという福祉サービスの仕事にやりがいを感じていることがうかがえます。また、職場の雰囲気も大企業と比べると、小さく家庭的でどんなことでも話をしやすいとの声が多くありました。その一方で、設問(3)・(4)・(5)からは、法人が創立から15年を迎え事業も拡大し、組織も大きくなる中での課題も出てきていることがうかがえます。約半数の職員が自分の仕事を周囲に評価されていないと感じています。これは、当法人に公正な人事評価制度が構築されていないことが大きな要因です。また、日常的に職員間で褒める事、褒められる事が少ないと感じています。そんな背景もあり、昨年は講師を招き「褒め方、褒められ方」の研修を実施しました。

処遇(給料)については、数値的には約6割の方が満足と答えていますが、これは「福祉業界は給料が安い」という認識がベースにあり「仕方がない」という諦めが反映していると思います。そして、このような状況ですので、「給料は上がらないのに、これ以上の責任は負いたくない」という気持ちが設問(5)に現れていると思います。

法人としては、今後も職員の処遇を向上できるような増収の可能性を追求し、職員が安心して将来設計ができるよう安定した運営を目指します。また、職員が仕事のモチベーションが得られるよう公平な人事評価制度を整備し、より責任のある仕事にチャレンジする意欲を持てるような教育制度を確立して行く必要があります。NPO法人山脈は、15周年の節目を越えて新たな挑戦が始まります。

きょうされん 40 周年映画「星に語りて～Starry Sky～」の感想

先月号に引き続き、11月15日（金）、高崎市総合福祉センターのたまごホールで上映されたきょうされん40周年映画「星に語りて～Starry Sky～」を観た山脈の職員の感想をご紹介します。



【ワークハウスみやま】

- 沢山勉強になり、考えさせられました。大きな災害の際、仮に日中の避難であっても、避難所に障害者支援施設「ワークハウスみやま」を知ってくれている近隣の人たちは何人いるのだろうかと言う事。避難先で「ワークハウスみやま」を知っている人たちと知らない人たちでは障害者を受け入れる「器」の大きさが全然違うのではないかと。小さなお子さんの親御さんや障害者に理解の無い人たちにとって、障害者と言うだけで、警戒されたり、奇異の目で見られたり、嫌悪されたり、もしかすると怖いと感じる人もいるかもしれません。今勤めている事業所を近隣の方や地域の人達に少しでも多く知っていただく事から始められれば、いざと言うときに受け入れや協力も違う気がします。ありがとうございました。(K. Y)
- 東北の震災では、被災された方すべての人が大変な時に、障害者の方達に一生懸命支援をする姿を見て感動しました。はたして自分がもしその立場だったらと思うと、どうだったろうと思います。それから、当事者のかたも出演されていて、その演技も素晴らしく、それを指導した監督も凄いと思いました。(S. S)
- 今回この映画を鑑賞して私には3つのポイントがありました。1つ目は私の知らないところでかなり苦労して活躍していた人がいたという事。障害者を探し出す為懸命に働いた方々を尊敬致します。2つ目は障害者の探しだすための法律の壁。正直かなり難しい問題ではありますが普段はなんの問題もない（人を守る）法律がこのような状況では探すのを阻む問題になるとは考えるものがありました。また、その壁を突破した時は純粋に良かったと実感しました。3つ目は日本人らしさが生きる上で問題になったことが複雑な気持ちでした。人に迷惑をかけない日本人の美しい精神が障害者の方々の孤独や死を招くことになるとは残念です。但し、このことは子供が泣くからやペットと一緒にいけないからなどの報告も聞いていましたので本当に難しい問題だと思います。映画の終わりに監督が話しましたが、救助に余裕はありませんが、出来れば色々なグループごとに救助及び避難ができれば少しは解決できると思います。(Y. S)
- 当事者の方たちの演技が素晴らしかったです。災害が起きた時にどのように支援チームが立ち上がって行くのが勉強になりました。日頃から地域参加しておくことが大切になって来るのではと思いました。(T. M)

【麦のゆめ/工房はるな】

- 災害にあった障害者も健常者と同じ恐怖感を感じている現状がありながらも避難所に辿り着いたとしても「障害者」ということで肩身の狭い思いをしながら生活をしていたことを知った。同じ人間であるのに悲しい気持ちになった。(H. N)
- 加齢に伴っての身体的な困難さや障害により身動きが取れず、自宅に留まっている状況等の環境下の中で自分がもし当事者やその家族の立場になって居合わせるとしたら避難所にはいかないかもしれない。こだわりや障害特性を生かすことができる環境調整等が必要になると感じられた。(K. K)
- 様々な障害を抱えながらも被災された人々や取り残されてしまった人々、被害後も自宅に戻ってしまう人々等がいたという現実を知った。障害者の方々と協力し、意見を出しあって今後の環境づくりと一緒に検討していくことの大切さを感じられ、素晴らしい映画だったと感じた。(M. H)
- 様々な障害を抱えながら人々に対する災害時の対策や制度・法律等が万全に整っていない中で障害者の方の意見を取り入れて障害の状態等に合わせた災害の情報を得ることのできる仕組みや障害者とその家族が避難しやすい

い・安心して過ごすことのできる環境づくり等を多機関と連携し、一緒に模索して調整を行っていくことの重要性を感じた。(R. I)

【ハーモニーやまなみ】

- 災害時の障害者がのけ者になった事に対し、とても悲しい事だったが、もう少し一般の人に映画を見て障害者を理解して欲しいと思った。(T. T)
 - 東日本大震災の様子が分かりとても良かった。(Y. N)
 - 感動し考えさせられた、良い映画でした。(H. M)
 - 災害時の障害者へスポットを当てた映画を製作するのはかなり意義がある事だと思いました。(N. T)
 - 災害時の障害者の対応についてしっかり対策を立て対応出来る様計画しておくべきと強く感じました。どこに救済を必要としている人がいるか等、マップ作り（役所等が）が必要と思います。(E. S)
 - 震災時の行動について改めて考えるいい機会となりました。障害のある人もない人も知っておくことが多くある映画でした。(M. G)
 - 災害が発生した時の自分の無力を感じた。(R. M)
- 災害対策は日本に於いて、普遍的な課題です。障がいのある方もない方も、お年寄りも子供達にも、福祉・防災に関わらずあらゆる職種の方々、全ての人々に観て頂きたい映画です。全国の詳しい上映スケジュールは、下記のきょうされんのホームページでご覧になれます。

<https://www.kyosaren.or.jp/starrysky/#schegule>



「星に語りて～Starry Sky～」をあなたの街、あなたの事業所で上映しませんか？

きょうされん群馬県事業者連絡会では、念願であるきょうされん群馬県支部の立上げを来る4月に予定しています。そのためより多くの方々にきょうされんの活動を知って頂きたく、群馬県内においてきょうされん40周年記念映画であるこの「星に語りて～Starry Sky～」と、一昨年、前橋で上映した「夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年」の上映運動を展開しています。上映についてのお問い合わせは下記でお受けしています。

きょうされん群馬県事業者連絡会 センター事業所 みやま工房 TEL0279-54-2947